

# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糺屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

## 「紙芝居の思い出」

中区 丸岡 寿弘

今から六十年以上も前になるが、小学生の頃、私は学校から帰るなりカバンを玄関に放り投げ、近所の子供たちと田んぼや空地で野球をしていたが、大好きな野球以外の楽しみは、週2、3回村にやってくる紙芝居を観ることだった。

拍子木のカチカチ鳴る音が聞こえてくると、五円玉硬貨を握りしめて近くの広場へ駆けて行った。どこから集ってきたのだろうかと思うくらい、ぞろぞろと三十人ばかりの子供たちが寄ってきて、広場はまたたく間に一杯にな

った。今の少子化時代と違って兄弟も多く、六十軒ほどの村だったが、同級生だけでも十人ばかりいて、紙芝居に群がる子供たちの数の多さが容易に想像できると思う。

自転車の荷台に紙芝居を積んだおじさんが、箱の中の水飴を、著半分ほどの棒に絡ませて取り出し、五円玉と交換しながら渡していく。そしていよいよ紙芝居の始まりである。「しいうちゃんは…」から始まる語りを、水飴を舐めながら熱心に聞き入ったものである。先日、図書館で紙芝居が並んでいるのを目にして、とても懐かしく、思わず手に取った。子供向けから大人でも楽しめるものまでジャンルが広い。早

速数冊借りてきて、孫の前で遠い昔の紙芝居のおじさんよろしく、ちょっと面白い語り口調で見せてやると、興味深く聞き入って拍手をしてくれた。これに気を良くして、馴染みの歌声喫茶で『金色夜叉』『安珍清姫』の紙芝居をすると、みんな熱心に観てくれた。登場人物に成り切って語るのにはなかなか難しいものである。昔聞いた紙芝居のおじさんは、子供心をうまく掴んだ名調子振りだったと思わずにいられない。インターネットやスマートフォンなど動画に慣れきっている現代に、講談の入ったレトロでアナログ的な紙芝居も、たまにはいいものではないかと思



## ことば 言の葉だより

予期せぬことを期待せよ

トミ・ウンゲラー 編

1931年、ドイツとの国境に近いフランス北東部のアルザス地方で生を受けたウンゲラー。ここは、戦渦に巻き込まれるたびに国籍が変わる地域でした。8歳の時、第二次世界大戦が勃発。その頃の体験を後に独特のユーモアと風刺をこめて語っています。

22歳の時、ディスプレイや地元企業の広告デザインの仕事を始めますが、しだいにアメリカの文学、グラフィックアートに傾倒していき、25歳の時、わずかなお金を持って渡米。翌年には記念すべき最初の絵本、『メロップス一家、空へ』を出版するのでした。その後、絵本だけでなく多様な分野でも活躍し、若くして成功をおさめますが、めまぐるしい都会の生活とお金万能の社会に嫌気がさし40歳の時カナダへ移住します。その地で自然から大いなる刺激を受け、これまでの画風から激しく変貌を遂げていくのでした。

1970年代以降、スイスやドイツなどで頻繁に個展が開かれるようになり、再び活動の拠点をヨーロッパに置きます。1998年国際アンデルセン賞画家賞を受賞。さらに2007年11月には、個人美術館が故郷ストラスブールにオープンし個人展が開催されました。存命中のアーティストの作品を展示する美術館は、彼のような巨匠クラスのものとしては大変珍しいものだったようです。そのウンゲラーが今年2月、87歳の人生を終えました。彼は「どの作品にも、私自身が見つかる」と語っています。波乱万丈な彼の人生を念頭に置きながら作品を読んでみると、また違ったウンゲラーの世界に出会えるかもしれません。

絵本であれなんであれ、いつも何かしらあたらしいスタイルを見つけようとしています。このやり方は、ひとつのスタイルだけを維持するアーティストにくらべて、成功することはむずかしい。でも一生同じスタイルなんて、そんな退屈なことはがまんできないのです。

— 芸術新潮 2009年8月号より —

## トミ・ウンゲラーさんに関するクイズです。

- I. ウンゲラーがなりたかった職業は？  
①哲学者 ②考古学者  
③天文学者 ④地質学者
  - II. 子どものころの愛読書はどれ？  
①『あひるのピンのぼうけん』  
②『いたずらこねこ』  
③『かいじゅうたちのいるところ』  
④『もじゃもじゃペーター』
  - III. 1961年のクリスマスに妻から贈られたプレゼントをきっかけに、あるものの蒐集にのめりこみます。それは何？  
①玩具 ②時計 ③フライパン ④レコード
  - IV. メロップス一家ってどんな家族のお話？  
①うさぎ ②さる ③ぶた ④きつね
  - V. ウンゲラー家はストラスブール大聖堂のあるものを代々管理してきました。それは何？  
①ステンドグラス ②天文時計  
③パイプオルガン ④鐘
- 【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『芸術新潮』（2009年8月号）、『トミ・ウンゲラーと絵本』今田由香／著 玉川大学出版部



## ゴールデンウィーク期間中のお知らせ

開館：4月27日(土)・28日(日)、5月1日(水)～5日(日)  
休館：4月29日(月)・30日(火)

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
4月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

【こたえ】I・・・④ II・・・④ III・・・① IV・・・③ V・・・②

■ は休館日です

# かるた会 (いろはかるた・百人一首) 1/5



毎年1月に開催している、かるた会。「百人一首」の部には、町内の小学4、5年生男女6人が参加し、“源平戦”で勝敗を競いました。今、ブームがきているそうで、レベルの高い真剣勝負が繰り広げられました。

また「いろはかるた」の部には、4歳から小学3年生までの男女8人が集まり、3組に分かれて札をとりました。単行本ほどもある大きなカルタを使ったところでは、探すのも取りに行くのも大変そうでしたが、みな楽しそうな表情で元気よく取っていました。

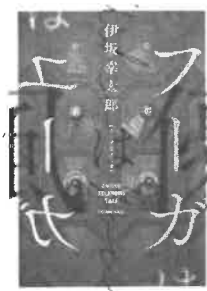
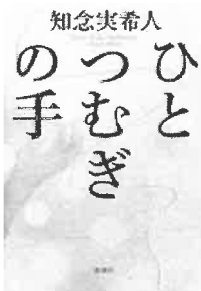


## みどりこども園

1/17, 18

17日には5歳児の子ども達が、そして翌18日には4歳児の子ども達が元気いっぱい図書館へきてくれました。おはなし会の後は、こわい本や釣りの本、好きなキャラクターが載った本など、思い思いの本を手に取り、借りて帰る本を選んでいました。

## 「2019 年本屋大賞」ミネート10作品



4月9日(火)に選考会が行われ、受賞作が決定します。



## 一緒に遊びましょう 2/16



親子連れや手遊びのグループ、おはなしサークルなどから16人が参加しました。

講師は「福祉コミュニケーションコーチ」として、遊びながら学び、気づく場を、各方面で提供されている山口喜志愛さん。4色のお手玉や新聞紙、牛乳パックなど身近なものを使いお家でも



できる遊びのほか、1冊の本を1人1ページずつ読んでいく読み聞かせ、1人1フレーズずつお話を創作する「てのひらえほん」など、グループで楽しめる遊びもたくさん教わりました。山口さんは「〇〇しなければいけない、と型にはめずに、普段から楽しんで」と話されていました。



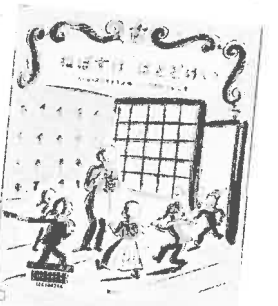
## Book menu



寺地はるな／著  
ポプラ社  
ジャンル:小説  
(Fテラ)



小枝 守／著  
竹書房  
ジャンル:実用書  
(783.7 コ)



ルイス・スロボドキン／著  
偕成社  
ジャンル:児童書  
(K933 ス)

祖父覚次郎に頼まれ、捜し物をしに行ったミナトホテルで、芯は受付のアルバイトをする事になります。ホテルのオーナーである湊篤彦が脚を骨折したことや、篤彦の亡き母、陽子さんが覚次郎の同級生であったことが、その理由でした。陽子さんの一周忌をホテルの裏庭で行うため、庭へつづく扉の鍵を捜してほしい、というのが覚次郎の頼みなのでした。ミナトホテルには看板すらないのでありますが、なぜかわけがありなお客が次々とやってきます。四歳の葵ちゃんとふたりで長期滞在している桐子さん親子。失恋したての派遣社員、花岡月子。そして、心を病む親友の力になれなかったことを悔いている芯自身。「それが必要な人のための居場所でありたい」という陽子さんの想いが、今なおホテルに漂っているからなのでしょう。うか、ひとびとははからずもホテルに集い続けます。それぞれの事情に互いにかかわるうちに、それぞれの何かが、変わっていきます。誰かとつながりあうことの安心感や温かみがじんわりと描き出された物語です。(り)

全国屈指の激戦区である東京・千葉からの甲子園出場10回や千葉・拓大紅陵高校を夏の甲子園で準優勝に導いた球歴から、筆者は高校野球の名将として知られています。しかし、残念ながら、本書上梓後の今年1月21日にご逝去され、いわば、本書が遺言とも言えるものとなりました。前述のとおり、その秀逸な実績から名将として知られています。けつして勝利至上主義者ではなく、野球部員であり、高校生でもある青少年の人間形成を主眼にした、謙虚で熱心な指導者であったことはあまり知られていません。本書は、「高校野球は人間形成の場である」との信念のもと、高校生を、選手として人として、当たり前のことを当たり前にできる(本物)に育成するため、選手目線を最優先にして取り組んだ『人間小枝守』が、余すところなく紹介されています。高校野球の指導者に限らず、子どもたちの育成にかかわる全ての人に、筆者の魂の遺言を受け取っていただければ幸いです。(ゆ)

スイスの山奥にある小さな村に、小さな時計屋がありました。店内の壁は、ハト時計であふれています。毎時間、このハト時計からハトたちが一斉に飛び出し、声を張り上げ「ポッポー」と鳴くため、とてもにぎやかです。しかし一羽だけ、少し遅れて飛び出すハトがいました。村人は子どもも大人も、この、のんびり屋のハト時計を愛していました。ある日、お金持ちの国の王さまが、店の前を通りがかりました。時間になると、声をそろえて正確に時を知らせる、愛らしい姿に魅了され、すぐに、すべてのハト時計の購入を決めます。しかしその直後、一羽だけが遅れて鳴いたために「どれが正しいのかわからん」と腹を立ててしましました。あわてた時計屋のおじいさんは、この時計を翌朝までに必ず直すことを約束します。しかし、ぜんまいを掃除しても、歯車を磨いても、時計は直りません。困ったおじいさんが、ハトが出てくる小さな扉を開けると、なんとハトはぐつすり眠りこんでいたのです。(あ)

『球児に響く言葉力』

『ねぼすけはどこに』



# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区靴屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
http://www.library.taka.hyogo.jp/

## 「夢を追いかけて」

イシヅカ靴店 石塚 昌美

私は3年前、10年間勤務した中学校の教師を辞めました。「せっかく試験に合格して公務員として働いているのもつたない」と、何人もの方に言われましたし、自分でもそう思うこともありましたが、そうしてでも、私がなりたかったものが見つかったのです。それは「靴職人」でした。

もともと、モノ作りが好きで得意だったので、趣味として革を使ったオリジナルの小銭入れやキーケースといったモノを作り続けていました。少し上達してくると、カバンに挑戦したりもしました。



そんな時、ふと目に入ったのが靴でした。「靴ってどうやって作るんだろ。」との思いから、試しに見よう見まねで作ってみることにしましたが、全く上手くいきませんでした。そこで、「ちゃんと学んでみたい!!」という気持ちになり、神戸にある学校を見つけて通うことにしました。仕事がない休日や部活指導の後など、時間を見つけては「靴学校」に2年間足を運び続け、ようやく一通り靴作りができるようになりました。それからというもの、すっかりモノ作りに魅了された私は、だんだんと「これを仕事にできたら」という思いが強くなり、教師を続けるか思い切つて辞めるか迷いました。

そして、ついに私は教師生活10年目を迎える前の年に決心しました。「人生一度きり。今一番やりたいことに挑戦してみよう!」と、教師を辞めることにしました。何かを続けることは一番大変かもしれませんが、辞めることもまた大変な労力のいる決断だと私は感じました。

中・高生くらいの時、自分の夢や将来の仕事についてあれこれ悩んだりすることは当然あると思います。しかし、大人になっても、社会人になっても、悩み迷うものです。新しく何かをするのに遅すぎることはないと思います。上手いかわ、そうでないかは分からないけれど、今の自分の気持ちを大切にして、とりあえずやってみる。これから私はそうしたいと思っています。

## ことば 言の葉だより

小説は時間を使って楽しむ嗜好品

池井戸 潤 編

1963年、岐阜県生まれ。小学生の頃から「みんなが元気になる小説が書けたら」と思っていた池井戸さん。作家になりたいと思いつつも、なれる確率は低いと大学卒業後は銀行に就職されます。しかし会社に入ってから土日には50枚くらいの短編を書いては応募を続けられていたそうです。やがて組織で働くのは向いていないという思いもあり、7年勤めた銀行を退職し独立。その2年後、行員時代の経験をベースにした『果つる底なき』で念願の小説家デビューを果たされます。しかし、最初の2～3年は自分の小説が生きている気がせず、「これは何なんだろう?」と模索されたとか。そしてある時、「人の描き方が違う」ということに気づき、それ以降はその点を意識し作品作りに取り組まれているそうです。

ご自身はエンターテインメントの一般小説を書いておられるつもりなのですが、書店にいくと企業小説の棚に並べられてしまうのだとか。また、池井戸さんにとって一番つらい感想は「面白くなかった」より「難しくてわからなかった」だそうです。そして余韻残して終わると「結末が中途半端でスッキリしない」と納得しない読者が多いため、ある頃から意識して最後まで書くようになったそうです。

ドラマ「半沢直樹」や「花咲舞が黙ってない」、「下町ロケット」など数々のヒット作品を手掛けられている池井戸さん。勧善懲悪的な内容が多く、弱者が強者に勝つそのストーリーは多くの読者を魅了し続けています。7月には「ノーサイド・ゲーム」も放送予定です。ぜひ、この機会に読んでみませんか。

## 表紙の人 石塚昌美さん

1981年生まれ

趣味: ものづくり、海外を旅すること

- ・2000年 多可高校普通科卒業 武庫川女子大学英語文化学部入学
- ・2004年 ニュージーランドに1年間留学
- ・2005年 県内公立中学校で10年間勤務
- ・2011年 青年海外協力隊員として、インドネシアに2年間派遣される
- ・2016年 教師を辞め、単身イタリアへ
- ・2017年 帰国後、姫路にて、工房兼カフェをDIYする
- ・2019年 お店のオープンから今に至る

面白さに、正面から切り込む。王道こそがもっとも難しい。

— 『小説すばる』(2019年2月号)より —

## 池井戸 潤さんに関するクイズです。

- デビュー作『果つる底なき』で受賞した賞は?  
①松本清張賞 ②江戸川乱歩賞  
③横溝正史ミステリ大賞  
④「このミステリーがすごい!」大賞
- 登場人物の特徴のあるものを使って管理しています。それは何?  
①エクセルで入力 ②スマホの電話帳に入力  
③単語帳を使う ④手書きした付箋を壁に貼る
- 本を買ったらすることがあります。それは何?  
①カバーを外してしまう ②帯を本に貼る  
③本にハンコを押す ④レシートを葉にする
- 登場人物を考える時にすることは何?  
①学生時代の名簿を見る  
②サラリーマン時代の上司の名前を思い出す  
③新聞の人事欄で名前を探す  
④広辞苑などの辞典を見る
- 『七つの会議』を書く直接的なきっかけは何?  
①蕎麦屋で耳にしたサラリーマンの会話  
②サラリーマン時代の実体験  
③SNSを通じたファンとのやりとり  
④新聞、雑誌等のメディアからの情報

【こたえ】は右下にあるよ。

【参考文献】『小説すばる』(2019.2月号)、『AERA』(2019.2.11号)、『ダヴィンチ』(2019.1月号)、『婦人公論』(2017.9.26号)、WEB 本の雑誌「作家の読書道 第132回」、mi-mollet掲載インタビュー記事

## 学習室をリニューアル(全17席)

週末や長期休暇には多くの方が自主勉強のため学習室を利用されています。以前からプライベートな空間が欲しいという多数の声があり、今回左下のような仕切りを机上に設置しました。これによって「集中して



学習できるようになった。」という感想をいただいています。これから暑い夏本番です。涼しい図書館をどうぞ活用ください。

【こたえ】Ⅰ…② Ⅱ…① Ⅲ…④ Ⅳ…③ Ⅴ…①  
Ⅳの新聞欄は日経新聞だそうです。

# 特別おはなし会 5/11



こどもの読書週間に合わせ、パネルシアターや大型紙芝居など、いつもと少しちがう特別おはなし会を開催。参加者にはバラバラな絵が折りたたんでいくと四つの絵に変身するという変わり絵パズルをプレゼントしました。



## 図書館見学

6/5, 26



松井小の3年生、杉原谷小の3年生が町内施設めぐりの一環としてそれぞれ図書館見学に来てくれました。「本はどのくらいあるの?」「図書館にある一番古い本はどれ?」など様々な質問が出、館長からの説明を熱心にメモしていました。

# トライやるウィーク 6/5~9



今年は2名の生徒が図書館の業務を体験しました。貸出や返却など通常の業務に加え、今年は期間中に図書館まつりもあったことから、大忙しの5日間でした。図書館だよりのタイトルロゴも書いてくれました。



## Book menu



北川恵海/著  
KADOKAWA  
ジャンル:小説  
(Fキタ)

ブラック企業に勤める、社会人1年目の青山。社交的な性格でしたが、いつしか笑うことを忘れ、誰とも連絡をとらなくなり、1週間が過ぎるのをひたすら待つ日々を送っています。ある月曜日。線路に飛び込みそうになった青山の腕をつかんだのは、ヤマモトと名乗る謎の男でした。小学校の同級生だといわれても思いつけず、勢いで連れて行かれた居酒屋で、しかしはつとすると優しい目をしたヤマモトと話すうち、青山の心はほぐれていきます。ヤマモトと飲みに行ったり、仕事のアドバイスをもらったりするようになり、青山は前向きな気持ちを取り戻していきます。しかし仕事が軌道に乗り始めた矢先、ある出来事に絶望し、再び自殺を考える青山。そんな青山に、ヤマモトが伝えた言葉とは…。

最後まで気になる、ヤマモト。そして初めは「軽いタイトル」と思っていたのに、青山がこう決心できるようにするまでの道のりを、いつのまにか応援してしまっている——がんばりすぎる人にぜひ読んで欲しい物語です。(あ)



小和田哲男/監修  
G.B.  
ジャンル:実用書  
(210.5 才)

家康が天下をとり、徳川の御世になるまでは、戦うことが生業であった武士たち。天下泰平の世が訪れると、武士の暮らしは変化します。戦わずして禄を稼ぎ、なお戦いに備えるの鍛錬を怠らない彼らには、どのような生活事情があったのでしょうか。

平和が保たれるなかで、幕府は軍事組織としてよりも行政組織としての機能を強化し、職制も広範になっていきます。出勤は朝五時という超激務だったのは遠山の金さんも務めたという勘定奉行。他方、戦陣で用いる軍旗をつかさどった旗奉行はものすごくヒマだったとか。給料は身分と役職によって差が大きく、下級の武士は食べるために内職にいそしんだといいます。生活に追われていようと、武士たるもの常に武芸の修得を心がけ、泰平の世にあっても、將軍のためいつでも出陣できるよう備えに余念がありませんでした。

過酷なサラリーマン生活を営んでいたといわれる武士たちの実像が、彼らの暮らし、武術、仕事などから浮かび上がってきます。(り)



柿田ゆかり/作・絵  
赤ちゃんとママ社  
ジャンル:絵本  
(Eカ)

ゴートンさんのはたけで、まあいいじゃがいもがたくさんとれました。ゴートンさんひとりではとてもたべきれないくらいです。そこでゴートンさんは「そうだ、みんなにこのじゃがいもをわけあげよう」とかんがえました。

つぎのひ、ゴートンさんはじゃがいもをにぐるまにいっぱいいっふんであちこちにくばってまわりました。

さいしよはあらいくまのバットンさんのおうち。つぎがぶたのブレイディで、そのつぎがはりねずみのピクルス。そして、そのつぎがうさぎのラビッツせんせいに、かばのヒポックさん。つぎからつぎへとゴートンさんはじゃがいもをわけてまわり、やがてぜんぶなくなっていました。

するとつぎのあさ、わけてもらったみんながつぎつぎにゴートンさんのおうちにやってきました。さて、いったいなにがはじまるのでしょうか。(ゆ)

# 第16回 図書館まつり 6/8(土)

本のリサイクル広場



大人気の古本市! 開場前には約80名の方が並んでくださいました。

## アコーディオンアルバムづくり



アコーディオンのように蛇腹式になった、手づくりアルバム。みなさんにとって素敵な1冊に仕上がっていました。

## 布絵本展示



## ミニ縁日



輪投げに  
ヨーヨーつり

雨が少し心配されましたが、開館と同時に晴れわたり、図書館前の特産品販売のコーナーや、コーヒーなど飲食できるオープンカフェでは多くの方がくつろいでおられました。この他にもスライムづくりやおはなし会、装備体験など多数のイベントがあり、多くの方に来館・参加いただきました。ありがとうございました。





# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糺屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

ことは  
言の葉だより  
自然の力を信じ、  
人の真心を描いた  
アルプスの少女『ハイジ』編



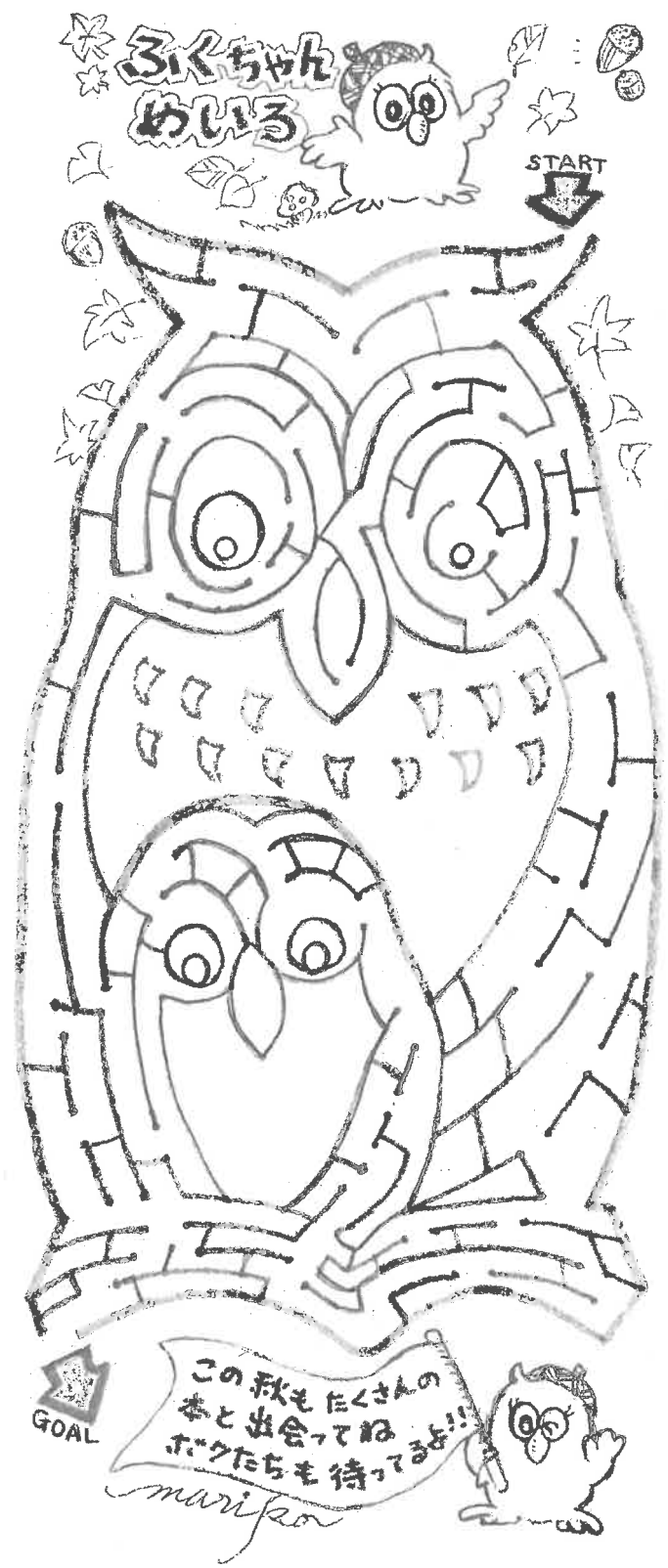
ハイジの「山に帰りたい」という叫びは、鬱病にまで追い込まれたシュペーリの真実の声だったのでしよう。人が人間らしく生きるためには何が必要なのか。シュペーリの出した答えが『ハイジ』でした。  
(中略) 作品の魅力は、現代も決して色あせず私たちの心にしあわせを届けるのです。  
— 『MOE』(2019.8月号)より —

## 「優しい時間をくれる場所」

中町北小学校教諭 林山陽子

学校にはいろいろな教室があります。子どもたちが普段過ごす教室はエネルギーに満ち溢れています。理科室や音楽室には、フラスコやビーカー、楽器などがあったり、作曲家のポスターが貼ってあったりします。それぞれに違って、それぞれの雰囲気があります。その中で、授業を受ける教室や運動場とは違う、学校の中でもちよつと特別な場所が図書室です。休み時間や放課後の時間を過ごした方も多いのではないのでしょうか。

今年度、私は図書の担当をしています。



です。小学生の子どもたちが学級で「窓係」や「黒板係」といった係を担っています。私が、私は学校の「本係」です。

職員だけでなく、学校図書ボランティアさんや図書館の方々の力を借りながら、子どもたちが読みたい本を借りやすいように、子どもたちが読みたい本を教室や図書室の本棚に並べています。お目当ての本や、読みたい種類の本を探して図書室に足を運んでもらい、いろいろなジャンルの本を手にとってほしいと思っています。「あの本、おもしろかったで。」と、やっぱり感想を期待してしまう自分もいますが、それだけでなく、隙間時間が出来た時や今何しようかなと思った時に、「そうやなあ、図書室に

行こうかな。」一人でも行ってみようかな。」と、子どもたちに思ってもらえたら嬉しいです。

本たちは、図書室に来る子どもたちをいつでも優しく待っていてくれるように感じます。優しく迎えてくれる本たちの、そして場の不思議な力なので、うか、たくさんの本の前に立ち、まだ中を読まないで背表紙を見ているだけなのに、子どもたちは穏やかな顔を見せてくれます。

読書の秋がやってきます。本を読むう！と声をかけるだけでなく、図書室がくれる優しい時間を子どもたちと共有したいと思っています。

アルムの森<sup>(注1)</sup>を舞台とする『ハイジ』はスイスの作家ヨハンナ・シュペーリによって1880年に出版されました。その『ハイジ』が、1974年にテレビアニメとして放映され、今年で45年になります。このアニメはのちにアニメ界のレジェンドと呼ばれる高畑勲、宮崎駿、小田部洋一らが手掛けています。

さて原作者のシュペーリとはどんな人物だったのでしょうか。シュペーリは1827年、スイスのヒルツェルという山間の村で7人兄弟姉妹の4番目として生まれます。10代の頃には語学と音楽の勉強のためにチューリッヒに出たり、フランス語習得のために女子寄宿学校に留学したりと当時の女性としてはかなりしっかりとした教育を受けています。

41歳の時、詩人であった母の影響もあり小説を書き始め、52歳の時匿名で出版したのが『ハイジの修業時代と遍歴時代』<sup>(注2)</sup>でした。この小説は発売されるや爆発的にヒット。翌年には続編の『ハイジは習ったことを役立てることが出来る』を今度は実名で出版することになったのでした。

アニメは1年間に52話の放送のため原作にはなかったエピソードが多数盛り込まれています。逆に原作を読むとアニメでは描かれていない登場人物の事情やエピソードに気づかされ、繰り返される日常生活の場面やセリフの重みなど物語を通じて見えてくるものがあります。アニメや絵本とは違った感動をぜひ、この機会に味わっていただければと思います。



## ふくちゃんの豆知識

(注1) アルムの森とは

ハイジが過ごす山の牧場には、樹木も少なく緑の牧草地が広がっています。こういった場所をドイツ南部の方言でアルムと呼ぶそうで、シュペーリがこの物語を書いた当時、このドイツ南部の方言が流行していたようです。

(注2) 『ハイジの修業時代と遍歴時代』

シュペーリの両親がゲーテの友人と知己であったことから、彼女自身ゲーテの本を愛読していました。ですからハイジの原題はゲーテの長編小説『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』『遍歴時代』からとられたそうです。

## 『ハイジ』に関するクイズです。

- I. シュペーリと親交のあったドイツの作曲家は？  
①ワーグナー ②ブラームス  
③シューマン ④シュトラウス
- II. アニメ版では、ハイジが小鳥を育てるエピソードがあります。それはある物語がベースになっています。その物語を書いた絵本作者は誰？  
①ハンス・フィッシャー  
②フェリクス・ホフマン  
③アロイス・カリジェ  
④イエルク・ミュラー
- III. 大正14年に出版された本ではハイジは日本の名前で訳されています。その名前は？  
①柊<sup>ひいらぎ</sup> ②楓<sup>かえで</sup> ③薦<sup>つた</sup> ④椿<sup>つばき</sup>
- IV. ハイジの舞台となるスイスの面積はどのくらい大きさ？  
①北海道 ②本州 ③四国 ④九州
- V. アニメ『ハイジ』の放映当時、オープニングに出てきたキャッチは何劇場でしょう。  
①ハウス食品まんが劇場 ②東芝まんが劇場  
③パルナスまんが劇場 ④カルピスマんが劇場

【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『100分de名著 シュペーリ アルプスの少女ハイジ』NHK出版、『MOE』(2019.8月号)、『アルプスの少女ハイジの世界』求龍堂

## 臨時休館のお知らせ



図書システムの入替え作業のため下記の期間休館いたします。この間は多可町図書館、加美図書室、八千代図書室での返却を除くすべての業務を休止します。

記

10月29日(火)～11月1日(金)

ご迷惑とご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

【こたえ】I・・・① II・・・③ III・・・② IV・・・④ V・・・④



## 『やわらかく、考える』



外山滋比古／著

PHP  
ジャンル：随筆  
(914ト)

すべてに納得がいく訳ではありませんが、「なあ〜るほど！そうかもしれないなあ〜い、や、そうだ！」と、膝を叩いてしまう編が所々にあるかと思えます。

一五〇編の短い随筆が七章の項に分けられて著わされていますが、一編ずつ、実に読み易いのは間違いないと思います。しかし、短い表現であるがゆえに含みの部分の受け取りが必要かと思われれます。

思うに、そこそが随筆の深みや面白さであり、そうであるからこそ、読み手それぞれが自分なりに思いを巡らすことができます。

例えば、こんな一節があります。

「テレビは新聞より現実のリアリティに近いけれどもそれだけ浅くなりやすい。新聞は読むのに想像力、理解力、判断力などをより多く要請する。それだからこそ、音声、映像とは異なる知的興味を満たし得るのである。」

右記の一節から、みなさんは筆者のどんな思いを受け取りますか？

是非ご一読いただき、みなさんそれぞれに知的興味を満たしてください。(ゆ)

## 『中野京子と読み解く 運命の絵2』



中野京子／著

文藝春秋  
ジャンル：実用書  
(723ナ)

誰もが一度は思い巡らせるであろう、人生の大きな不可思議：運命。興味をそそるタイトルです。

たとえば表紙にもなっている、マネ『フオリ・ベルジエールのバー』。華やかなバーに立つ、若く美しい女性が描かれているのですが、どこか違和感を覚えます。その理由の一つは、実際ではありえない構成で描かれていること。もう一つは、紫煙にけむり、おしゃべりや楽器の調べなどが伝わってくるこの賑やかな場にそぐわない、売り子嬢の憂いを帯びた表情です。しかし当時のパリでの女性の地位を知ると、実はこのとき、彼女が運命の分岐点を迎えているのかもしれない…という筆者の解釈に、誰もがうなずけるのではないのでしょうか。

運命をテーマにした作品はもちろんですが、その絵を制作したがゆえに、またその絵に関わったがゆえに、幸運を、あるいは不運を招いてしまった画家やモデル、所有者のその後などにも触れられています。三十数点の絵画から読み解く、一七の運命。芸術の秋にオススメの一冊です。(あ)

## 『マリールイズいえでする』



カールソン／著

童話館  
ジャンル：児童書  
(Eア)

マリールイズはマンガースの女の子です。いつもよい子のマリールイズは、ある日わるい子になりました。かまどでどろんこパイをつくったり、ふとんに尻尾をだしておくための穴をあけたり、はげたかのたまごをふくろうの巣に入れたりしたのです。かあさんに叱られたマリールイズは腹を立て、家出することを決心します。あたらしいかあさんを探しに行くというのです。でも、かあさんは動じることなく「きつとお腹がすきますよ」と、おべんとうを持たせてくれるのです。マリールイズは、あひるのせかせかおばさん、かめのかみかみおばさんなど、思いつくまま自分を子どもにしてももらえないかとたずねてまわります。ことごとく断られ、がっかりするマリールイズでしたが、魔法使いのヒキガエルさんから、すてきなご婦人が子どもをひとりほしがっている、と教えてもらいます。そのご婦人にこそ、かあさんになってもらおうと、稲光のように走りだすマリールイズ。追いついてみるとそれは、正真正銘の懐かしいかあさんだったのです。かあさんにこよなく愛されている誇りを胸に、マリールイズは家路をたどるのでした。(り)

## ビブリンピック

7/20～8/31

## 図書館 NEWS

— 7～9月 —

毎年恒例の夏休みに開催されるビブリンピック。初日からたくさんの小学生や幼児の方に参加いただきました。小学生向けのビブリンピックでは156人が参加しました。クイズ達成者は47人、50冊読破では49人が達成。答えが合うまで何度も挑戦する小学生の姿が印象的でした。また、幼児向けのビブリンピックでは、61人の参加がありました。兄弟や親子で本をとおして素敵な時間を過ごせましたか？

## 夏休み課題解決相談コーナー

8/7～9

夏休みにはいろいろな宿題が出されますが、中でも自由研究と読書感想文はなかなか手ごわいものです。そんな宿題に困っている子どもたちに向けて、「夏休み課題解決相談コーナー」を開設したところ、総勢15名の応募がありました。訪れた子どもたちは小中学校の元先生方



による懇切丁寧なアドバイスに熱心に耳をかたむけ、質問し、メモをとりながら、宿題解決に取り組んでいました。ばっちりできたでしょうね。

## 読み聞かせ講座

9/26

子育てふれあいセンターとの共催で開催した読み聞かせ講座。講師に小栗栖真弓さんをお招きし、「絵本と子ども」というタイトルでお話いただきました。

## 水たまりの水彩画で絵本を作ろう！

8/22～23

今年の手づくり絵本講座は「水をたっぷり使う」のがコツ。例えば、水をたっぷりつけた絵の具で青空を描いた後、すばやくティッシュで拭きとると、まるで雲のように見えます。子どもたちは水遊びするような感覚で、生き生きと筆を進めていました。2日目は、初日に描いたいくつもの絵を1冊の本にまとめました。順番をどうするか、読む人が引き込まれるような物語にするにはどうするか…。頭を悩ませながらも、参加した14人はそれぞれの個性あふれる魅力的な絵本に仕上げていました。



## 10/27～11/9は読書週間です。

今年の標語は

「おかえり、葉の場所で待ってるよ」

図書館では10/10(木)～11/9(土)までの間、職員と図書館ボランティア【サポー□・ねっと】のメンバーによるおすすめ図書を手書きのポップを添えて展示します。



## 多可町中学生理科自由研究作品展示

各中学校で選ばれた作品を展示します。

期間：10月3日(木)～10月17日(木)

時間：10時～18時まで

(ただし、最終日の17日は17時まで)

場所：多可町図書館 学習室

ぜひ、この機会に生徒たちの頑張った作品をご覧ください。





# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糺屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
http://www.library.taka.hyogo.jp/

私は以前、通勤に電車を利用しており、車内では読書をして時間を過ごしていました。多可町に赴任してからは、車通勤になり読書時間を確保するのが難しくなりました。しかし、少なくとも月に一冊は本を読むように心掛けています。ジャンルはミステリー、実用書、人文書など多岐に渡りますが、目的としては日々の生活や仕事の糧になる本を自然に選んでいるように思います。ここ最近読んだ中で心に残る二冊の本を紹介させて頂きます。

一冊目は『ひと』（小野寺史宜／著）。家族を失い一人になった20歳の男性が孤

独に生活する中で徐々に周りに相談する事ができて、助けてくれる人が増えていくという物語です。誰もが家族、友人、仕事仲間など、周りに人がいるにも関わらず孤独を感じる事があるかと思います。しかし、この本を読むと、人は一人ではなく、周りに相談したり、助けてくれる人が必ずいると実感できる物語です。

二冊目は『ハーバードの人生を変える授業』（タル・ベン・シャハー／著）。人生は楽しい事もありますが、つらい事もあり、誰でもくじけそうになる経験があると思います。そんな時にたまたま書店で目につき読んでみました。人生を幸せに生きるための心理学（ポジティブ心理学）の授業（52構）が紹介されています。私にとつ

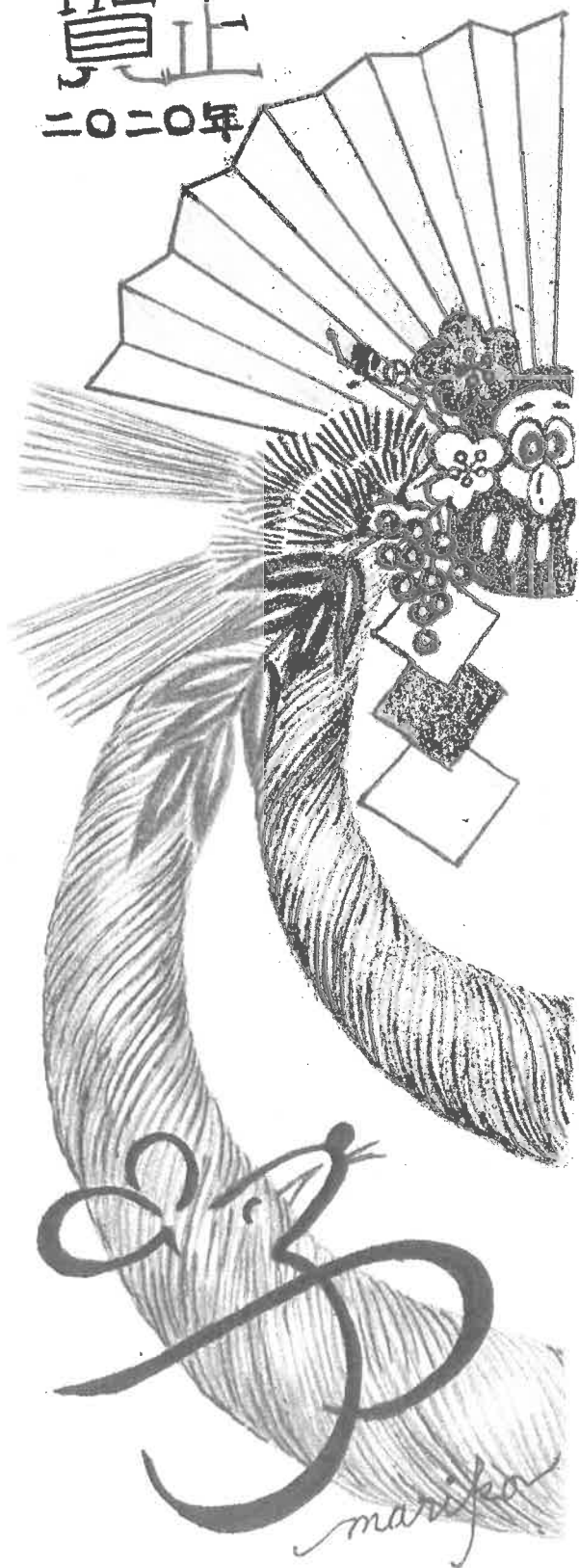
て最もグツときた項目は「嫉妬から学ぶ」です。嫉妬は誰もが持つ感情で、仕事仲間、友人、家族など色々な人に抱き、避けられない感情です。そういった感情を和らげる方法が紹介されています。人生をなるべく幸福に生きるためには、自分の良さに気づき、誇りと自信をもって生きることが重要であると実感しました。

読書の効果は一般的には、「知らない世界に触れる」「国語力が向上する」「想像力が上がる」「コミュニケーション能力が向上する」など様々な利点があります。私にとつての読書は、日々の生活や仕事での悩みや問題などを乗り越える力を与えてくれるのに欠かせないパートナーのような存在です。

## 「私と読書」

多可赤十字病院  
総合診療科 三宅 岳 たちし

賀正  
二〇二〇年



## ことばの葉だより

小さな不思議の数々は、  
物語へと続く入口

富安陽子 編

1959年東京生まれ。3歳の誕生日直前、父の仕事の都合でカナダへ。5歳の時帰国。小学校入学直前にこんどは大阪へと引っ越しされています。小学校時代に3度の転校を経験。両親はこのことを負い目に感じられていたようですが、当の本人はこの度重なる引っ越しの経験を、「他人よりたくさんの思い出と原風景を持つことができた」と大人になってから振り返られています。

数々の個性あふれる登場人物や奇想天外なファンタジーの世界が生み出される背景には実家の富安家の人々（中でも特に祖母の怪談話や父・伯母のほら話）の影響が大きかったとのこと。そんな富安さんが童話作家になるきっかけになった一つは、両親が高校卒業の記念にと、富安さんが書いた3作品を収めた童話集を自費出版してくれたことだそうです。そして大学時代、出席日数の不足から単位を落としそうになった富安さんは、この童話集を自身で文章表現担当の教授に送付します。すると教授がそれを出版社に送ってくださり、やがて月刊誌に掲載されることになったのだとか。これが童話作家への第一歩となるのでした。

子どもたちがわくわくするような物語を書き続けられている富安さんは現在、「2020年国際アンデルセン賞」の作家賞候補として推荐されています。これは1953年にIBBY（国際児童図書評議会）によって創設された賞で、「小さなノーベル賞」と称されています。

このように児童文学の世界をけん引し続けられている富安陽子さんをお招きし、講演会を開催いたします。

多可町図書館開館15周年記念「富安陽子講演会」  
演題：「物語が生まれる時」  
日時：令和2年2月2日（日）13：30開演  
定員：80名 ※定員になり次第締め切ります。  
参加費：無料

ぜひ、この機会に図書館へお越しください。



「妖怪一家 九十九さん」シリーズ



「菜の子ちゃん」シリーズ



「オニのサラリーマン」シリーズ

誰もが見ていて、誰もがうっかり見逃しているような小さな不思議を、暮らしの中で見つけた時、物語というのは、そこから生まれてくるのだと私は感じています。

— 子どもと読書 7/8月号(340号) より —

## 富安陽子さんに関するクイズです。

- I. 富安さんが子どもの頃にもらったプレゼントの中でいちばんうれしかったものは  
①100色入りのクレヨン ②100個入りの風船  
③100個のアイス ④100枚入りの折り紙
- II. 自分で物語を書くきっかけとなった本は？  
①『風についてきたメアリー・ポピンズ』  
②『長くつ下のピッピ』  
③『ナルニア国物語』 ④『はてしない物語』
- III. 富安家には毎年行う、あるイベントがありました。それはどんなイベント？  
①近所の山へご来光登山に行く  
②今年の漢字一文字を発表しあう  
③家族のオリジナルカレンダーをつくる  
④着物をきて百人一首をする
- IV. 高校時代に好きだった役者の名前は？  
①石原裕次郎 ②萬屋錦之介  
③大川橋蔵 ④高倉健
- V. 祖母の家で楽しみにしていた御馳走は？  
①お茶づけ ②巻きずし  
③おにぎり ④混ぜご飯
- VI. 結婚前の一時期にしていた仕事は？  
①コピーライター ②脚本家  
③図書館司書 ④銀行員
- 【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『さいでっか見聞録』（偕成社）、『童話作家のおかしな毎日』（偕成社）、『子どもと読書 7/8月号(340号)』（地域文庫全国連絡会）、『読書推進運動（第624号）』



「ムジナ探偵」シリーズ



「シノダ！」シリーズ



「やまんばのむすめ まゆのおはなし」シリーズ

この他にもまだまだたくさんの作品があります。

【こたえ】  
I・・・① II・・・① III・・・③  
IV・・・② V・・・④ VI・・・①



松本清張／著  
光文社  
ジャンル:小説  
(Fマツ)

西郷札は、西南の役において薩軍が発行した軍票です。戦後この紙幣は賊軍が発行したものとして、政府から補償されることなく、宮崎地方では被害を蒙った者が多くあつたということです。

さて、この造幣に従事した日向佐土原の士族樋村雄吾は、戦いで負傷しながらも運よく生還し、生き別れになっていた血のつながらぬ妹、季乃と思いがけず東京で再会します。美しく成長した季乃はすでに大蔵官僚塚村圭太郎の妻となっていました。故郷の佐土原では、義母の連れ子であつた季乃に冷たい態度をおとした雄吾でしたが、懐かしさだけではな、心に湧き上がる寂しさの感情を扱いかねるものでした。そんな兄妹の仲を疑い、嫉妬にかられた塚村は、政府が西郷札を買い上げるといふ風説を巧妙に流し、雄吾とその恩人たちを陥れていきます。塚村の罠に落ち、知らぬ間に罪人に仕立て上げられた雄吾に残された道とは…。

「健康でいたい」とは誰もが思い、願うものです。そのために、日々の食生活に注意し、運動に汗を流し、さまざまなサプリメントを飲み、アンチエイジングに効くというものは何でも試す。

しかし、良かれと信じて励んでいたことが、実は大きな誤りや勘違い、今では覆された危険な健康法だとしたらどうでしょう。

例えば、1日1万歩をめざして早朝からウォーキングをする。腹をへこませようと腹筋運動に精を出す。コレステロールのとり過ぎを防ぐため、卵は1日1個までにする。糖質制限でごはんは全然食べない。寝る前にコップ1杯の水を飲む…。

かつては、運動中の水分摂取が厳禁であつたのが、今では真逆に様変わりしているのは周知の事実です。それと同様に、そういうえびどこかで聞いたような、というより、やつたことがあるような健康法が本書には満載され、一刀両断にされています。

「健康でいたい」という願いを叶えるために、一度お確かめになられてはどうでしょう。



ホームライフ  
取材班／編  
青春出版社  
ジャンル:実用書  
(498)



マリー・ハムズン／作  
岩波書店  
ジャンル:児童書  
(K949ハ)

冬が長いノルウェーで、春の訪れを心待ちにしている子どもたちがいました。ランゲリユード農場に住む4人の兄弟で、10歳長男・オーラは、読書と、物思いにふけるのが大好きです。2歳年下の次男・エイナルはわんぱくですが、憎めない性格の持ち主。その下には2人のかわいらしい女の子・イングリッドとマルタがいました。毎日楽しい遊びを考え出しては元気に遊びますが、お手伝いにも一生懸命です。

春はあつという間に過ぎ、一家で、山のずつと上にある牧場へ移る日になりました。夏の間中、オーラとエイナルが交替で、毎日40匹以上の牛やヤギを放牧し、番をするのです。牛追い初日、張り切りすぎて眠れぬ夜を過ごしたエイナルは、長い道を歩いて疲れ切ったこともあり、途中でぐっすり眠り込んでしまいました。そして目が覚めると、食いつん坊のヤギ1匹を残し、他の牛たちは姿が見えなくなっていたのです！

好奇心旺盛でのびやかに育つ子どもたちと、それをあたたかく見守る両親の姿が、ノルウェーの美しい自然とともに生き生きと描かれています。読むととてもさわやかな気持ちになる作品です。

## 図書館 NEWS

— 10~12月 —

ビブリオトーク出前授業  
in 加美中学校  
10/29

加美中学校1年生 48名を対象に、“ビブリオトーク出前授業”を笹倉剛先生のご指導で実施しました。まず、笹倉先生からビブリオトークの概要説明や図書紹介を受けた後、生徒たちがあらかじめ用意した紹介図書のメモをもとに、班ごとにビブリオトークをしました。その後、各班の代表者11名が全体の場で同様に発表を行いました。



初めての試みでしたが、それぞれに楽しんでビブリオトークに取り組んでいました。

12/22には“ビブリオトーク in 多可町図書館”を開催しました。



## クリスマスおはなし会・クリスマスピアノコンサート 12/21

毎年恒例のクリスマスおはなし会と、それに引き続いて山崎真さんによるピアノミニコンサートを開催しました。おはなし会では読み聞かせに合わせて山崎さんにバックミュージックを弾いていただくなど、クリスマスらしいおはなし会となりました。また、今年は12/22に図書室でもおはなし会を開催しました。

## ストーリーテリング講座

10/9~12/11



昨年に引き続き、飯尾正子先生を講師にお招きし、10月から3回の講座を開催しました。

大人から見ると、かわいらしくあどけない子どもたちですが、彼らは自分のことを「一人前の人間」だと思っています。おどけたり、しつこく言ったりするのではなく、率直に、心をもって語ることで、おはなしがスーッと入ってくる、といいます。子どもたちに深い喜びや希望を与える題材を選び、いろいろなものから感性を育てられるようにすることが大切だと学びました。

## キッズランドかみ2歳児 12/6

キッズランドかみの子どもたち(うさぎぐみ・りすぐみ)が、図書館に来てくれました。それぞれお気に入りの一冊を見つけ、カウンターへ。借りた本は大事に自分の絵本カバンにいれ持って帰っていました。

また、来てくださいね。



## 『よそごとでない 南海トラフ地震』

よそごとでない 南海トラフ地震



発行：コークゼミ・あったかほーとらいん

「コークゼミ・あったかほーとらいん」から南海トラフ地震をテーマにした絵本がうまれました。昨年の8月25日、加美区奥荒田のふれあい喫茶で演じた紙芝居から発展したもので、コークゼミ受講生の教本として配布されました。また、町内小中学校の各教室にも配布され、防災教育で活用される予定です。

1/17は阪神淡路大震災から丸25年にあたります。のど元過ぎれば熱さ忘れる…なんてことにならないよう、この絵本をきっかけに、防災について考えてみてはいかがでしょうか。各図書館(室)に置いてあります。購入ご希望の方は、生涯学習課(32-5122)までお問合せください。

南海トラフ地震の備忘録

品名	数量	単価	総額
紙芝居	250冊	100円	25,000円
絵本	100冊	100円	10,000円
ポスター	100枚	100円	10,000円
パンフレット	100冊	100円	10,000円
その他	100冊	100円	10,000円
合計			65,000円



「コークゼミとは」

急速に進む少子高齢化において、昔ながらの「向こう三軒両隣」の関係を見直し、地域の困りごとを地域で解決できるよう、リーダーや協力者の養成と、体制づくりを考えていく、住民研修会のことです。

